

専任教員の教育・研究業績

所属	教育学部	職名	教授	氏名	泉谷 章仁	大学院における研究指導担当資格の有無	無
I 教育活動							
教育実践上の主な業績		年月日 (期間)		概要			
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)							
2 作成した教科書、教材、参考書							
「プラハ」社会科資料 (副読本) 『改訂版』		平成19年3月		在チェコ プラハ日本人学校における小学校社会科資料の改訂につき編集・執筆者として携わる。			
わたしたちの堺 (平成24年度版)		平成24年4月		学習指導要領改訂に伴い、堺市中学校教育研究会社会科部会と共に作成し、編集・執筆者として全面改訂を行う。			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等							
大阪教育大学 高大連携事業「教師にまっしぐら」講演		平成28年8月		教員志望の高校生が大阪教育大学の高大連携事業で「小中一貫教育について」の講演講師を行う。			
奈良県王子町 義務教育学校講演会		平成29年5月		奈良県王子町が、義務教育学校の講演会を実施した際、パネリストとして参加し、堺市における小中一貫教育について説明を行う。			
泉南市教頭会研修		令和5年7月31日		小中一貫教育に取り組んでいく泉南市立学校教頭会で、堺市、大阪府や全国の小中一貫教育の事例や今後行うべきことを講演する。			
4 その他教育活動上特記すべき事項							
西宮市教育委員会及び西宮市立西宮浜小学校・中学校研修講師		平成30年7月		堺市の小中一貫教育及び勤務校での実践について講演する。			
河内長野市立南花台小学校・中学校 校内研修講師		令和元年7月		堺市の小中一貫教育及び勤務校での実践について講演する。			
貝塚市立二色小学校・第5中学校 校内研修講師		令和元年8月		堺市の小中一貫教育及び勤務校での実践について講演する。			
II 研究活動							
著書 (単著)							
書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月		
		〇〇頁			平成〇年〇月		
		〇〇頁			平成〇年〇月		
著書 (共著・分担執筆)							
題目/書名	著者/編者	初(始)頁~終頁	発行所	発行地	発行年月		
中学社会科 “アクティブ・ラーニング発問” 174	泉谷 章仁 / 峯 明秀	地理4頁 歴史3頁 公民3頁	学芸みらい社		平成28年4月		
対話的で深い学びを測る新授業の評価 新中学社会の定期テスト	泉谷 章仁 / 峯 明秀	地理4頁 歴史3頁 公民3頁	学芸みらい社		平成29年11月		
小中一貫教育をデザインする 「カリキュラム・マネジメント52の疑問」	泉谷 章仁 / 藤江 康彦	25頁~31頁 52頁~53頁	東洋館出版社		令和元年11月		
原著論文 (審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含めない。)							
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁~終頁	発行年月		
				〇〇頁~〇〇頁	平成〇年〇月		
				〇〇頁~〇〇頁	令和〇年〇月		
総説							
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁~終頁	発行年月		
				〇〇頁~〇〇頁	平成〇年〇月		
				〇〇頁~〇〇頁	令和〇年〇月		
その他 (「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入)							
区分	題名	著者	誌名	巻	初(始)頁~終頁	発行年月	
実践報告	「小中一貫校におけるコロナ禍の初期対応について」～先を見据えて、教育活動を如何にして行うか	単 泉谷章仁	日本義務教育学会紀要	第4号	77頁~80頁	平成3年3月	
選択		単			〇〇頁~〇〇頁	令和〇年〇月	
学会発表 (「国際学会」、「国内学会 (一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等)」、「研究会」等区分を記入)							
区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名		
選択	平成〇年〇月						
選択	令和〇年〇月						
科学研究費等の取得状況							

科学研究費/その他の助成金/外部資金

区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額（期間内の総額）
選択			選択		
選択			選択		

特許

特許名称	発明者/出願人	出願日/出願番号	公開番号	取得した場合 ⇒	公告・特許番号	国

Ⅲ 加入学会および社会における活動

期 間	内 容
加入学会	
平成〇年〇月～平成〇年〇月	〇〇学会理事
令和〇年〇月～令和〇年〇月	〇〇学会理事
社会的活動	
平成〇年〇月～平成〇年〇月	
令和〇年〇月～令和〇年〇月	

Ⅳ 管理活動

期 間	内 容
委員会活動	
平成〇年〇月～平成〇年〇月	
令和〇年〇月～令和〇年〇月	
特別プロジェクト活動	
平成〇年〇月～平成〇年〇月	
令和〇年〇月～令和〇年〇月	

Ⅴ クラブ活動の指導業績

1. 指導クラブ名	部	2. 役職	例：2009～〇〇 2013～〇〇	3. 部員数	人
4. 現場指導の頻度	選択 ① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない				
5. 合宿指導	年間合宿回数：	回	延べ日数：	日	
6. クラブの競技力向上への取り組み	選択 ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	選択 ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
8. 部員の就職指導への取り組み	選択 ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
9. 年間の引率公式大会名	大会名	期 間	場 所		

10. クラブ戦績（全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。）

開 催 期 間	大 会 名	成 績	場 所

Ⅵ 賞罰（職務に関する賞罰）

年 月	受賞等機関名	内 容	備 考